

男子	区間	1区 (4.4km)	2区 (4.6km)	3区 (3.55km)	4区 (3.25km)	5区 (5.1km)	計 (20.9km)
A	氏名	村瀬 圭太	東 恭兵	折橋 歩	原塚 大貴	水谷 大貴	1時間03分38秒
チーム	クラス・出身中	1-3 天王中	2-3 大和中	2-3 古知野中	2-3 古知野中	2-3 陽和中	
1位	時間	13:36	14:07	10:48	9:04	16:03	
	区間順位	①	①	①	①	①	①
B	氏名	青井 美雄	加藤 憲	木村 洋介	古田 将	荒木 優治	1時間08分29秒
チーム	クラス・出身中	1-3 木曾川中	2-3 大口北部中	2-3 阿久比中	1-3 甚目寺中	2-3 日新中	
3位	時間	14:03	14:55	11:42	10:35	17:14	
	区間順位	②	③	③	⑤	③	③
女子	区間	1区 (2.9km)	2区 (4.6km)	3区 (3.55km)	4区 (3.25km)	5区 (5.1km)	計 (19.4km)
A	氏名	田中美季	加藤美紀	村上真帆	坂口愛美	間瀬さくら	1時間09分15秒
チーム	クラス・出身中	3-4 新郊中	2-3 日新中	3-4 西成東部中	2-3 沓掛中	1-3 東浦西部中	大会新
1位	時間	10:28	15:52	13:01	10:56	18:58	
	区間順位	①	①	①	①	①	①
B	氏名	岩本 梓	河本綾乃	伊藤靖菜	河村初音	一番ヶ瀬弥加	1時間15分11秒
チーム	クラス・出身中	3-4 千代田中	1-3 治郎丸中	1-3 西成東部中	1-3 南陽中	3-4 富士中	
3位	時間	11:29	17:00	14:10	12:27	20:05	
	区間順位	③	②	③	③	③	③
一般	区間	1区 (4.4km)	2区 (4.6km)	3区 (3.55km)	4区 (3.25km)	5区 (5.1km)	計 (20.9km)
飛鳥	氏名	松本 駿	岩堀拓也	野田飛鳥	新保 純	宍倉 恒哉	1時間11分50秒
チーム	クラス・出身中	3-4 大府南中	3-4 蟹江北中	3-4 浅井中	教員	3-4 半田中	
1位	時間	14:37	14:25	14:19	13:19	15:10	
	区間順位	②	②	⑤	⑤	①	①
弥富No.1	氏名	山川達也	伊藤祐貴	濱本雅貴	梶間慎也	杉山恭輔	1時間12分55秒
チーム	クラス・出身中	教員	3-4 陵南中	3-4 新郊中	教員	3-4 神丘中	
3位	時間	14:52	14:08	13:11	13:44	17:00	
	区間順位	③	①	②	⑥	③	③
HERO	氏名	黒川将司	近藤邦成	新頭知也	竹口善朗	林 裕貴	1時間12分42秒
チーム	クラス・出身中	3-4 安城南中	3-4 栄中	3-4 尾西第二中	教員	3-4 千代田中	
2位	時間	14:21	14:35	14:14	13:16	16:16	
	区間順位	①	③	④	④	②	②

高は、高校男子が1時間3分38秒、一般女子が1時間9分15秒の大会新

津島市駅伝 弥富高7チーム上位独占

- 第六十二回津島市駅伝競走大会が十四日、同市の天王川公園を発着点に開かれた。
- 海部地域から五十二チーム二百六十人が参加。合図とともに力強く駆けだし、一般と高校の男子が20・9分、中学男子、一般と中学の女子が19・4分のコースで健脚を競った。
- ◇上位入賞の皆さん◇
- ▽一般男子 ①飛鳥 ②HERO ③弥富No.1
 - ▽高校男子 ①弥富A ②津島北 ③弥富B
 - ▽一般女子 ①弥富A ②津島北 ③弥富B



場メンバー全員に昼食」を公約に臨んだ。結果は：予想外の活躍。3区までに1分以上は遅れをとると予想された「チーム飛鳥」が優勝、その予想は松本・岩堀・野田君の3人の活躍で覆された。

また女子は、津島駅伝が引退レースの位置づけ。Aチームの5名が区間賞を獲得。その上、田中さんは区間新記録を樹立。レース後にはキャプテンの一番ヶ瀬さんが3年間の想いを語ると共に、東海大会出場の目標を後輩へ託した。



09年全日本実業個人63kg級2位の小澤が、オール「一本」で優勝した。決勝を争ったのは日本の松岡。小澤は右組みからの払い腰、内股などで一本勝ちを重ねる。一方、松岡は寝技や右大内刈りなどの「一本」で勝ち進んだ。相四つとなった決勝は、小澤が得意の大外刈りで決着をつけた。



63kg級 小澤里奈(ミキハウス) 優勝

回戦	相手名	国名	決り技
1回戦	ブリゴロバ	ブルガリア	一本勝(払腰)
2回戦	オノリエネコ	ロシア	一本勝(内股)
3回戦	ウォズニナク	ポーランド	一本勝(大外刈)
準決勝戦	スザボ	ハンガリー	一本勝(崩袈裟固)
決勝戦	松岡睦	日本	一本勝(大外刈)

月刊誌「近代柔道」に掲載

日本武道館にて3月20日、第32回全国高等学校柔道選手権大会が開催されるが、63kg級では、大田晴菜(淑徳)と16年卒業の小澤理奈(ミキハウス)さんが優勝候補と目されている。小澤さんは、田中さんも寝技が得意で力強いファイア大会で優勝した記を持っており、紹介。

事が雑誌「近代柔道」に掲載された。それぞれを応援バスが出ることも決まっている。試合当日は、学校から紹介する。全国大会に63kg級内田待は大きい。

全一本勝ちの小澤が63kg級V

1月30日と31日、ワールドカップ・トビリン(ロシア)男子7階級とワールドカップ・ソフィア(ブルガリア)女子7階級がそれぞれ開催された。日本からは男子が6階級に7選手、女子は7階級に17選手が出場。男子100kg超級の百瀬優(国士館大2年)、女子63kg級の小澤理奈(ミキハウス)と70kg級の今井優子(了徳寺学園)が優勝した。